

令和4年度探究の過程を意識した理科（生物）授業づくり研修講座実施要項

- 1 対象校種
- |   |   |   |     |     |     |
|---|---|---|-----|-----|-----|
| 幼 | 小 | 中 | 高   | 特   | 教委等 |
| — | — | — | 458 | 558 | —   |
- 2 目的 理科（生物）を担当する教員としての専門性を高めるため、探究の過程を通し、生徒が見方・考え方を働かせることで深い学びの充実に向けた授業づくりについて研修する。
- 3 育成指標 (教)授業実施, (教)評価, (教)授業研究・改善
- 4 期 日 令和4年10月20日(木)
- 5 会 場 やまぐち総合教育支援センター  
(山口市秋穂二島 1062 セミナーパーク内 理科研修棟 生物実験室)
- 6 担 当 教育支援部 平山くるみ (TEL 083-987-1190 FAX 083-987-1200)
- 7 日 程

| 時 間         | 内 容  | 講 師・指導助言者等   |
|-------------|--|--|
| 09:40～09:50 | 開講行事   |  |
| 09:50～11:50 | (講義・実習)<br>身近なカブトムシから学ぶ進化のメカニズム<br>－生物の生態や生活史の視点から－      | 山口大学大学院創成科学研究科<br>講 師 小島 渉   |
| 12:50～13:40 | (講義・演習)<br>見方・考え方を働かせる授業づくりの進め方<br>－「指導と評価の一体化」を意識して－    | 総合教育支援センター教育支援部<br>研究指導主事 平山 くるみ<br>研究指導主事 大村 明生                         |
| 13:50～14:30 | (事例発表)<br>探究の過程を意識した授業づくりの実際<br>－生物領域におけるICTの効果的な活用を通して－ | 岩国商業高等学校<br>教 諭 爲國 愛   |
| 14:40～15:50 | (研究協議)<br>探究の過程を意識した授業づくりの工夫と評価                          | 総合教育支援センター教育支援部<br>研究指導主事 平山 くるみ<br>研究指導主事 大村 明生<br>岩国商業高等学校<br>教 諭 爲國 愛 |
| 15:50～16:00 | 閉講行事   |  |

※会場位置、欠席届及び講座実施に係る緊急情報等については、やまぐち総合教育支援センターのウェブサイト (<https://www.ysn21.jp/>) で御確認ください。ウェブサイトで確認ができない場合は、やまぐち総合教育支援センターへお問合せください。

## 8 その他

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する対応について

ア 当日は、自宅で検温し来所してください。受付でも検温を実施し体調について確認します。

なお、熱がある場合や体調が悪い場合には参加を見合せてください。

イ 研修中は、マスクの着用をお願いします。

### (2) 携行品について

ア 現在、学校で使用している又は使用を検討している教科書（生物基礎または生物）

イ 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 理科編 理数編

文部科学省ウェブサイト（[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1407074.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm)）からダウンロードしてください。

ウ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校 理科）

国立教育政策研究所ウェブサイト（<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>）からダウンロードしてください。